

言語文化プログラム スケアーピーター先生



研究室 A327

担当授業

コミュニケーション I A (1)

コミュニケーション II A (2)

英語会話演習 (3)

インターミディエット・カンバセーション (3)

音声学・音韻論 (4)

英語ディベート演習 (4)

()内はセメスター

オフィスアワー

(月)(水) 12:05~12:45

こうだい
広大なキャンパス
で積極的に活動し
よう!

研究内容

音声学を専攻しています。フォノロジー、フォネティクス(注)の関係や、発音、方言などにも研究範囲を広げています。たとえば、子供の話し方の研究について言うと、子供が言葉を間違える時に使う言葉、友達と一緒に遊んでいるときに使う言葉、など音声一つでもいろいろな研究が出来るんです。スタンダードなしゃべり方、そして少し変わっているしゃべり方、などにも焦点を当てています。コンピュータを使用し、音声を画像で見るといった方

法もあります。

フォノロジーの研究によって、どのように脳が記憶をするか、情報を形成するかがわかります。またそこから、脳の働きの抽象的なモデルをつくりあげることができるのです。

研究への道のり

カリフォルニア大学を卒業したあと、日本に来ました。そして青山学院の中等部で3年間教えて、ワシントン大学の大学院に入りました。実は、同じ言語文化プログラムの安仁屋先生とそこで一緒になったんです。ですから、彼とは長い間付き合いがあります。その後、米国税務省に入り外交官となって、3年程横浜にある米国税務省日本語研修所の所長を経て、16年前に広島大学に来ました。

もともと心理学に興味があったんです。脳の仕組みや、言語の構造に長い興味がありました。脳で出来ること、出来ないこと、などの研究

ですね。文法にも関心がありました。でも、音声学が一番自分にわかりやすかったので音声学を専攻しました。

研究の中での総合科学

総合科学部は、いろいろな学部の要素が集まっている学部だと思います。私は、霞キャンパスで、子供のしゃべり方を調べている歯学部の方と研究を進めています。また、同プログラムの安仁屋先生ともよく話をしますね。あまり「総合科学」という言葉にとらわれず、自由に研究をしています。

広大なキャンパス

とにかく広いキャンパスがいいですよ。日本でもトップクラスの広さだと思います。これだけ広いと様々な活動が出来ますね。体育館、図書館、生協、学生総合支援センター、保健管理センターなどの施設

も充実していますし。

都会の中じゃないので静かなのもいいところですよ。でももっと動きがほしい。クラブ活動とかグループ活動はとていいですね。1年生はいろんな地方から来ているから、最初は1人で、友達がいなくてもいいけど、クラブ活動を通して学部を超えて輪を広げられます。

広大には、いろいろな体験が出来る機会があります。西条は何にもないところですから、皆さんには、大学の中の活動に積極的に励んでほしいです。

学生生活について

1年生に向けてメッセージを送ります。今が一番大切な時期です。多くの人が、今まで家族と一緒に住んでいたでしょう。食事はきちんと用意されていたでしょうし、日々の生活リズムも家族が気を遣っていられたことでしょう。

でも一人暮らしを始めて、食事を

コンビニ弁当で済ませてしまったら、睡眠時間が十分に取れていなかったり、勉強を怠っていたり、遊んでばかりの生活をしている人がいるかもしれません。新しい生活パターンをつくりましょう。食べていない、寝ていない、勉強していない、動いていない、といった悪いパターンはだめです。だから最初に良いパターンをつくるのが大切です。よく食べて、寝て、勉強して、アクティブな生活をするのが理想的ですよ。1年生の間に試行錯誤しましょう。

そして、元気があるのが一番です。良い習慣をつくり、それを継続することが大事です。現在、私の息子が大学1年生ですが、彼を見ているとよくわかります。新入生の中には、どうしたらいいかわからない人もいるかもしれません。無気力な人や、部屋でテレビを見たり、ゲームをしてばかりの人もいるかもしれません。そんな人は、ぜひクラブ活動やサークル活動に積極的に参加し

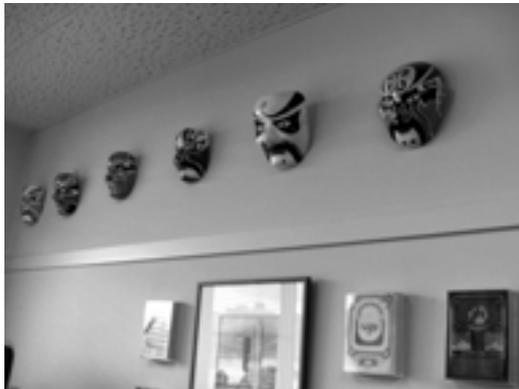
て、友達をつくってほしいです。

【担当】21生 岩永 明華

(注)

フォノロジー⇨音韻論：知覚的な観点から見た、人間の音韻のつけ方に関する研究。

フォネティクス⇨音声学：肉体的な観点から見た、人間の発声の仕方に関する研究。



上は旅先で買った仮面 下は先生が撮った写真

一問一答!

Q. 趣味：写真 スキー 自転車

自分で自転車を組み立てています。

Q. 自慢の品：旅先で買った仮面

仮面は手ごろで買いやすい&運びやすいです。

Q. 好きな音楽：ロック クラシックetc.

研究室にはCDを数百枚置いています。

Q. 好きなテレビ番組：

サッカー 映画 推理ドラマ

日本ではあまりテレビは観ませんね。

Q. 座右の銘：ポジティブ

日々前向きに考えるようにしています。

Q. 時間があったらやりたいこと：

運動のために自転車に乗る

休日はサイクリングしています。

Q. 行きつけのお店：

八本松のイタリア料理店

おいしいところを見つけるのは楽しいです。

地域文化プログラム

佐竹 昭先生



研究室 A513

担当授業

地域の歴史と環境 (1)

日本の歴史と文化 (1)

日本史A (2)

日本文化史 (3)

日本文化史演習 (6)

()内はセメスター

オフィスアワー

(火) 12:50~14:20

地域の視点から
大きな歴史にも！
小さな歴史にも！

研究内容

古代日本と中国との比較の視点から、日本文化の形成過程を見直しています。飛鳥時代・奈良時代まで遡って、文化をどのように受け入れたのか、または拒否したのか、どのように変化させて受け入れたかなど、東アジアの文化や地域の自然環境との関わりから日本文化を考えます。日本文化の原型が形成された奈良時代や平安時代では、中国や朝鮮の文化の強い影響を受けています。またそれとは全く異なった姿を示す面もあります。中国との比較、

対比のなかで、古代を中心に日本の社会・文化の理解を目指しています。例えば、「中国律令の受容と変容の背景に何があつたのか?」「中国の都城制、日本における受容の実態は?」や「仏教の列島各地へのひろがりの姿は?」など。

また、前近代(江戸時代まで)の瀬戸内や中国山地の地域の暮らしについて、他の地域と比較・対照しつつ、その歴史的特徴を探っています。この研究の中では、自然環境との関わりを重視しています。例えば、「人間活動が活発化した瀬戸内沿岸部、人々と動物や林野の関係は?」や「繁栄した瀬戸内港町、交易の実態は?」などの研究テーマがあります。

総合博物館には、私が関わったパネルもあります。良かったら是非見学に行ってみてください。

研究への道

和歌山県に生まれ、歴史に親しみを感ずる中で育ちました。学校の教師になろうと、広島大学教育学部に入學し、授業や研究から日本史や東洋史(特に東アジアの中の日本という観点)に興味を持ちました。始めは研究者になるつもりはありませんでしたが、勉強しているうちに興味が広がり、研究者の道を目指すようになっていました。総合科学部助手から、1年間の北京生活(北京大学東方系で日本語の先生をしていました)を経て、総合科学研究科教授となり今に至ります。現在は、「地域の暮らしに即し、地域の特徴を捉える研究」に取り組んでいます。

研究の中の総合科学

特に総合科学を意識しなくとも、研究をしていけば自然と総合的になっていくものです。そして総合的な見方なしには、歴史を解説するこ

とはできないと思います。例えば「日本史」という分野で考えても、

日本の歴史は世界の歴史と繋がっています。そのため必然的に他国の歴史も学ぶ必要があります。また、

「歴史」と一言で言っても、それを見渡す視点は、文化的・自然環境的・経済的・政治的など多岐にわたります。1つの視点を深く掘り下げていくと、必然的に他の視点に水脈が繋がりが、総合科学的になっていくものです。

広大のいいところ

他大学で経験があまりないので比較はできませんが、広島大学には真面目な学生が多いように思います。それが広島大学の良いところだと思います(と思いたい)。かつて広島市の千田キャンパスにいたころは、教員も学生も街に育てられるという面があったように思います。西条では同じようにはいきませんが、田畑がひろがり山々に囲まれた環境の中

で、また別の地域との関わりが育つのではないでしょうか。

学生について

自分が関心をもったことを追求してください。大学はそれが許されている大事な猶予期間ですから、利用しない手はありません。もっと活用してください。自分の可能性を閉ざさないでください。興味・関心の幅に関係なく、授業には心を開いて望みましょう。それでこそ得られるものがあるはずです。また、自分の世界を広げることも大切です。日本だけでなく、海外にも視線を向けてみてください。若い間に海外でしばらく暮らしてみると、逆に足元の日本のことにも関心が湧いてくると思います。

【担当】21生 木村 香名子

一問一答!

Q. 趣味：山を散歩すること
(研究の関係もあり)

Q. 自慢の品：
広島カープ初優勝時の大入り袋

Q. 好きなテレビ番組：野球

Q. 座右の銘：特になし

“座右の銘というより、自ずからそうあるしかない”

Q. 時間があったらやりたいこと：旅行

Q. 行きつけのお店：
強いて言うなら、ショージ(スーパー)

人間文化プログラム 大池 真知子先生



研究室 A409

担当授業

コミュニケーション I A (1)
コミュニケーション I B (1)
コミュニケーション (1)
コミュニケーション II A (2)
コミュニケーション II B (2)
ジェンダー学 (3)
メディア・リサーチ (4)
ジェンダー学演習 (6)
()内はセミナー
オフィスアワー
(月) 12:50~14:20
(在室時いつでも可)

総科ならではのダイナミックな研究をしています

研究内容

狭くいうと、英語で書かれたアフリカ文学作品をジェンダーの視点から分析することです。ほとんどの場合は女性作家を読むのですが、たまに男性作家の作品も読んで、どういうふうに性が描かれているか、男女問題がどのように表現されているかなどを研究しています。それに加えて、アフリカや日本のジェンダー問題について考えたりしています。

今は、HIV/エイズを扱った、さまざまな文学作品・映画・運動・演劇などについてHIV/エイズ研

究をしています。メインは、小説作品の中でHIV/エイズがどのように描かれていて、それが男女関係のなかでどのように出てくるのかということ です。また、HIV/エイズに感染した人が、自分が先立っていく前に、自分や自分の子どもも生い立ちなどを書き残す、メモリーブックというものについても研究しています。メモリーブックの作者にインタビューに行ったりして、メモリーブックを読ませてもらったりしています。メモリーブックはあまり文学作品として見られていないのですが、これが重要な資料であること を、もっとアピールしていく努力をしています。

研究への道のり

もともとは、アメリカ文学を研究していました。アメリカの白人男性の大学教授の書いた作品を修士論文としましたが、博士課程では、専門をアフリカ文学に変えました。ちょ

うどその時期に、英文学の研究対象とする範囲が世界に広がっており、世界中の英語で書かれた文学に関心が高まってきていました。アフリカ文学は、日本ではあまりやっている人もいないだろうし、私は、当時ガーナ人をパートナーに選んだばかりだったので、取り組みやすいかなと思って始めました。面白くなければやめればいいやと思っていただけですが、実際は作品がとても魅力的で、これはもうやるしかないと思って変えました。夫は「アメリカの白人の男性作家で教授をやっている。すばらしい作家じゃないか。アフリカには金がない。お前までアフリカに来るな。」と行ってすごく反対しましたがね(笑)。ですが、私は、今の仕事にも恵まれましたし、アフリカ文学を選んだことを後悔していません。

研究の中での総合科学

私が今やっていることは、文学の人たちもやっていないし、アフリカ研究の人たちもやっていないし、HIV/エイズ研究の人たちもやっていない。だから学会に行っても、どこかの枠にも入らずに、本当にマイナーで、どこにいても真ん中にはなれないです。

総科でなければ、私はこの研究をしていないし、総科にいうことで、自分の研究がすごくダイナミックになりました。日々、さまざま分野の人と接しているから新しいことを学べるし、奨励もできますからね。でも総科って、何か特定の「くく学」の研究をしているわけでないから、「総科って中途半端で、形だけの学部だよ」という批判はあるでしょう。でも、本当はひとつの枠にとらわれないことはすごく大事だと思うし、自分の学問分野からどんな貢献ができるのかについてはいつも考えています。それに、いろいろな隣の

分野の人から刺激を受けることで、自分の学問のあり方を問い詰められるから、かえって自分の学問もきわめられるんですよ。

広大のいいところ

自然が豊かで、空気がよいところでしょうか。鳥のさえずりもなごみますよね。以前、総合博物館のキャンパスツアーに参加して、キャンパスの真ん中に森を抱えているイメージを抱くようになりましたね。

学生について

学生は素直だと思います。でも、みんなある程度は優秀なのだから、もっと積極的に活動しないとまらない！ せっかく広い大学で、いろんな人がいるのだから、もったくさんの人と議論して、たくさん読書してください。みんな、誰にも劣らずいいもの持っています。もっと自信を持って行動してください！

【担当】21生 小出 有華



ガーナ美容院のヘアスタイルポスター

一問一答！

Q. 趣味：読書

研究に関係のある本を読むことが多いです。

Q. 自慢の品：

ガーナの家植えココナツの木

ガーナでは、なにか特別なときに木を植えます。私が結婚した時に初めて家に行った記念に植えてもらいました。8年後にガーナに行ったときにココナツの実が採れてすごく感動しました。

Q. 好きな音楽：レゲエ

Q. 好きなテレビ番組：

「探偵！ナイトスクープ」「恋のから騒ぎ」など

**Q. 座右の銘：「God's time is best.」
(神の時間が一番)**

ガーナのことわざで、物事がうまくいかなかったときに、「自分にとってはまだ機が熟してなかったのだ」と自分を慰めるときに使われます。

**Q. 時間があったらやりたいこと：
研究に関係のない本を読みたい**

Q. 行きつけのお店：レストラン「ティア」

子供歓迎をポリシーとして前面に押し出しているためです。ピュッフェ形式なので、ガーナ人の夫のためにメニューをいちいち訳さなくてすむし。外れがあっても、うらまれない。